

授業科目	保育内容「表現(身体・音楽表現)」(AB クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21409J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3			
担当教員	末成 妙子							
授業概要	子どもの発達に即した豊かな感性を育む表現遊びの重要性について教授し、多くの具体的な楽曲を用いて実技演習を行う。音楽表現を発表の場につなげる道筋を学び、表現する充実感を体験する。「音楽の楽しさ」を教えることができる保育者になるために必要な音楽に関する知識、基礎的な技能を常に磨きながら教師自身も楽しむことができる表現遊びを実体験する。身体表現、手遊び歌、身近な楽器を使った音遊びなどをしながら、支援が必要な子どもとも共感し合える音楽表現の在り方を研究する。							
学生が達成すべき行動目標	1 子どもの発達段階に応じた表現遊びを体験する。 2 表現をより豊かにするために、いろいろな楽器の効果的な演奏方法を学んだり場面に合った即興演奏の基礎を身につけたりする。 3 音楽表現遊びを発表に発展させる手法を学ぶ。 4 支援が必要な子どもに寄り添った音遊び、表現遊びを研究する。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	70	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			20	10			30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			10	50			60	
技能・表現 (DP5-3)				10			10	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
様々な音楽表現遊びの実践的指導が見いだせる。				発達段階を考慮して、様々な音楽表現の楽しさを感じることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:オリエンテーション「身体・音楽表現とは」 授業の概要について説明し、目的、達成の目安、評価の方法と内容について解説する。	ガイダンス	なし	0
2	テーマ:「領域・表現」について 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の表現の内容について教授する。	講義	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の表現の内容 n の内容を書き出し、要点をまとめる。	30
3	テーマ:発達に即した表現 子どもの動きの獲得時期に適した題材について実例を示しながら解説する。昨年度の保育総合表現で用いた脚本、衣装、音響、小道具などを使って劇遊びを実際に体験する。	演習	発達に即した表現遊びについてまとめ、体験した劇遊びについての振り返りをする。	30
4	テーマ:歌遊び・手遊びから身体表現遊びへ 「かもつれっしゃ」「らかんさん」「まあるいたまご」などの歌を実際に歌ったり、身体表現遊びにつなげたりして子どもへの働きかけを考察する。	演習	遊んだことのあるわらべうたをかきだしたり、既習曲を実際に鍵盤楽器で弾く。	30
5	テーマ:身体表現の指導内容と段階 「動きから表現へ→イメージと動き→音と動き→まとまりのある動き」という活動内容について教授する。	演習	子どもから引き出したい動きやイメージを書き出す。	30
6	テーマ:歌を表現遊びに 歌の内容を表現遊びにつなげる実例について解説する。子どもの歌に基づいた 10 分程度の短い劇の台本をもとに、グループで実演に向けて話し合う。「犬のおまわりさん」「南の島のハメハメハ大王」他。	演習	絵本の中に使われている印象的な繰り返し言葉について調べる。	30
7	テーマ:自然現象を表現遊びに 雪・風・波などをイメージした短い楽曲を声や簡単な楽器で演奏し、それを劇の中に取り入れてグループ内で話し合い表現する。	演習	子どもたちに体験してほしい自然界の音について調べる。	30
8	テーマ:簡単な打楽器による音遊び フィンガーシンバル・フロアータム・オーシャンドラムなどを使ってイメージを膨らませる音の使い方を解説する。それらを各グループで劇の中に用いて発表し合う。	演習	身近な生活空間から音を出す素材を探す。扱った打楽器のただし演奏方法を図解でまとめる。グループ同士の発表について検討し合ったことをまとめる。	30
9	テーマ:即興演奏 子どもの動きを引き出す音作りをする。ピアノを使って拍子感を体得する演奏法を学ぶ。	演習	学習した内容を子どもに実践できるようにする。	30
10	テーマ:支援が必要な子への対応 特に聴覚に障害のある子への音楽を使った働きかけについて、実体験に基づいた解説をする。	演習	障がいについて他の授業での講義内容を振り返り、学習したことをもとに実際の支援の方法をまとめる。	30
11	テーマ:伝承遊びと表現 伝承遊び特有の音階について知り、それを生かした即興的な合奏ができる。	演習	学習した内容を子どもに実践できるようにまとめる。	30
12	12テーマ:身体表現遊びを表現の場① なじみの曲や絵本の内容をもとにした劇遊びの曲本を書く。グループ内で検討し合う。	演習	物語性があり、場面が想像しやすい子どものうたを調べる。	30
13	テーマ:身体表現遊びを表現の場② 軸になる子どもの歌にせりふや簡単な曲を加え、音楽により表現の幅を広げる工夫を学ぶ。	演習	軸になる曲について曲の構成、歌詞の内容などを詳しく調べる。	60

14	テーマ:身体表現遊びを表現の場③ グループで場面を設定し、表現の内容を検討して発表するための打ち合わせ、準備、練習をする。	演習	役割に応じた発表の準備をする。	60
15	テーマ:身体表現遊びを表現の場へ④ グループ発表、検討。	演習	お互いの発表を参考に、学習した内容をまとめる。	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日常的に鍵盤楽器に親しみ、こどものうたに関心を持ち、たくさんの曲にふれてください。			
テキスト	必要に応じてプリントを配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「豊かな感性を育む身体表現遊び」ぎょうせい			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で学んだ曲を必ず毎回復習し、自分のものにしてください。十分に表現することは子どもの心をとほぐし、安定した心情を育てます。表現を支える音楽の力を丁寧に身につけてください。			

達成度評価に関するコメント	発表の留意点、レポートの内容については授業で詳しく説明します。
---------------	---------------------------------